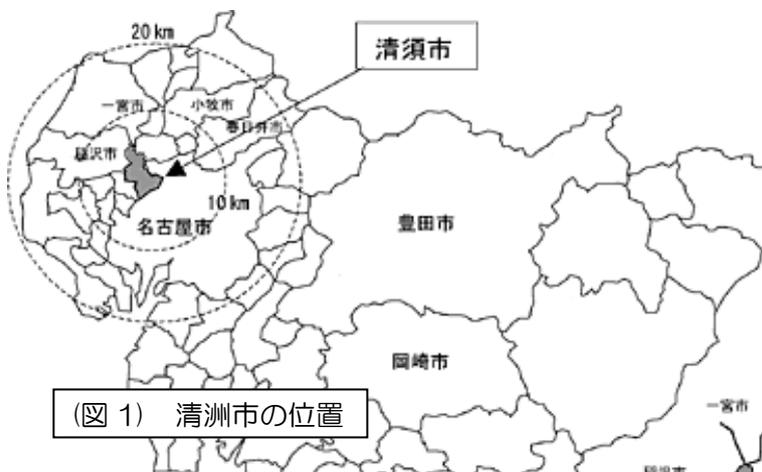


スマホで観光客を獲得

～ 企業と行政が連携した地域マーケティング ～

顧客との関係を緊密にする道具として、ケータイ電話やスマートフォンがあります。それらを活用したSNS(交流サイト)が果たす役割は近年大きくなってきました。特に、限られた予算のなかで顧客とのコミュニケーションを深めるためにはSNSの利用が有効です。若年層をはじめとして今や多くの日本人がケータイ電話などのツールを持っています。それらの機能を有効活用して顧客獲得をしようと多くの企業が考えています。これを観光に利用できないかを考えたのが愛知県清洲市にある「清洲城」です。



(図2) 清洲城

清洲市は「NHK大河ドラマ」ゆかりの地として話題になりましたが、一方で観光地づくりのため市が中心となって「ソーシャルゲーム」を企業と制作し、集客やファン作りに利用しています。一種のバーチャルゲームと思われがちですが、SNSを通じて利用者間との交流ができ、さらに現地を訪れないとゲームに取り込むことができない「限定アイテム」を用意しておくことで、観光の集客に一役買っています。この限定アイテムを目当てに訪れる観光客も増えています。

清須市では今後、市の歴史や文化を紹介するサイトを開き、SNSのサイトにも誘導する方法を検討しています。



現地のQRコードを撮影することで入手可能



(図5) 限定城外観アイテム『復刻-清須城-』